

沖縄黒糖 × 岩手の天然塩の コラボレーション!

今や人気もずかり定着した「塩フレーバー」こちらをまろ子のほ、地元岩手県・野田村の「天然塩」です。製塩会社「野田村産業開発」は津波の被害を受け操業できない状態が続いており、震災前の製品を使用し操業再開を心より祈り申しあげます。

岩手県一戸市の第3セクターが、沖縄から支援物資として送られた黒糖と、岩手県野田村の天然塩「のた塩」であめ「写真」を作り、同市の物産センター「なごや」とで販売している。

2011年7月5日・読売新聞36面 (13版)
西表黒糖が「復興あめ」に!



15個入り 200円♡



黒糖は西表島と南大東島から市災害対策本部に送られたもので、計約40kgあった。東北では黒糖をそのまま食べる習慣がないため、地元のおめ屋「船田商店」に商品開発を依頼。日に含むと黒糖の香りが広がり、塩辛さが甘味を引き立てる「復興あめ」が完成した。

のた塩は製塩会社「野田村産業開発」が震災前に作ったものを備用。同社は津波で被災し、操業ができないうちの状態が続いているため、売り上げの一部が送られる予定だ。センターの田上浩二支配

詳しくみてみました
西表島エコツーリズム協会が確認したところ、この黒糖は南大東島・西表島・波照間島の3ヶ所から送られた物とあり、ことがわかりました。

東北に黒糖を送ろう!大作戦の主旨に賛同していたたいた波照間のみなさんが、独自に募金活動と展開し岩手県に送った「波照間黒糖」、これから復興あめ、に姿をかえて東北のみなさんを元気づけます。

復興支援は
これからも
続きます

今年夏は
節電の夏!

<お知らせ>
東北に黒糖を送ろう!大作戦(しんぶん)第4号(4月19日発行)でご紹介した「復興の独立ポスター」いま全28作品に拡大し、日本をとおいでして、カンナ吉祭に展示されようほどの存在になりました。(西表にも貼ってます!)

<http://www.ecotourism-center.jp>
日本エコツーリズムセンターのページにもお越しください

人は「少しでも早期に再開できる」との気持ちで、西表島エコツーリズム協会(沖縄県)とこれを機に交流が始まり、色々な形で支援を続けたいと、9.5・22・4 people

それにしても黒糖をそのままカリカリかじって食やるのは、本当に沖縄の人ばかりなんで「あめ」...
おいしいのに



復興支援
かめばこ
「東北に黒糖を送ろう!大作戦しんぶん」改め
すけきた
しんぶん



今回は都合により
省エネ仕様で
おまじことします

ボランティア支援基金はじまりました [東部地区] ラ・ティータ西表 字南風見 大原港ターミナル (竹富町観光協会、八重山観光フェリー) 大富売店 [西部地区] ゆりみな (上原港ターミナル) スーパー川満 西部歯科診療所 santa nu neene カフェなかゆくい ダイビングチームうなりざき 民宿パイン館 民宿あけほの館 民宿母家 マリンロッチャアトク 西表島エコツーリズム協会 紅露工房浦内川観光 イルンティフタデムラ 星砂スーパー 金城旅館
黒糖作戦に引き続き基金館を設置していただき ありがとうございます!